

Highleads



Horizontal Electric Bass Drum & the Pedal sets Assembly & Usage Instructions

水平型エレキバスドラム PTE と専用ペダルセット 取扱説明書



左の写真のように、専用ペダルのかかと下部にあたるペダルの底にある台形型のゴム部を、底板の台形部に挿し込みます。そして、水平型エレキバスドラム PTE 本体部の矢印で挿した A と B の 2 脚を底板の A と B の丸穴の部分に挿し込みます。

なるべく専用ペダルと底板はガムテープなどで固定し、底板と床をガムテープなどで固定し

て下さい。ヨガマットみたいに、すべりにくいマットを下に敷く事を推奨します。専用ペダルのビータの位置やスプリングは、通常の P-900 と同じく調整できます。又、I.S.S. マウントクランプが付属している為、ハイチューニングにしてタムホルダーでスタンドにマウントし、《エレキティンバレス》として本体部を使用可能です。

水平型エレキバスドラムの演奏振動は、CubeMic のキャノンオス端子にキャノンメスケーブルを接続し、もう一方を、ミキサー、エフェクター、アンプ、オーディオインターフェイス等に接続し、打撃音を收音、増幅、音調整して下さい。バスドラムらしい音にしたい場合は、40Hz 辺りがブーミーな重低音。60Hz 辺りがドッシリめな重低音。80Hz 辺りがスタンダードなバスドラム低音アタックとなっておりますので、そこら辺をパラメトリック EQ などで増幅する事により、様々なバスドラム音に近いスイートスポットとなります。

CubeMic の周波数特性を考え、500Hz ~ 900Hz 辺りを大幅に EQ でカットする事により、洗練されたバスドラム音として、音楽合奏の中で輝く良い音になります。高音部のアタック音は、お好みで増幅してバスドラムアタックを強調する事に繋がります。基本的には、タオルやティッシュをガムテープなどで貼ってミュートをする事を推奨します。

チューニングキーでドラムヘッドをなるべくローチューニングにする事により、バスドラムらしい音になります。

右足で打撃しながら、左足でミュートさせたり、押し込んで音程を上げたり、足で直に踏んだり、スティックと共に演奏したり、新しい奏法を、いろいろとお試し頂き、この新たな楽器の可能性を育てて下さい！

キャノンの配線は、1 番がシールド (グラウンド) 2 番がホット。3 番が コールドになっております。

CubeMic はパッシブタイプの為、**48V 電源は不要です。決して 48V を ON にして使用しないで下さい。**

Highleads

By 株式会社ハイリーズ

製品改善のため、予告無くデザイン・仕様を変更する場合がありますのでご了承下さい。